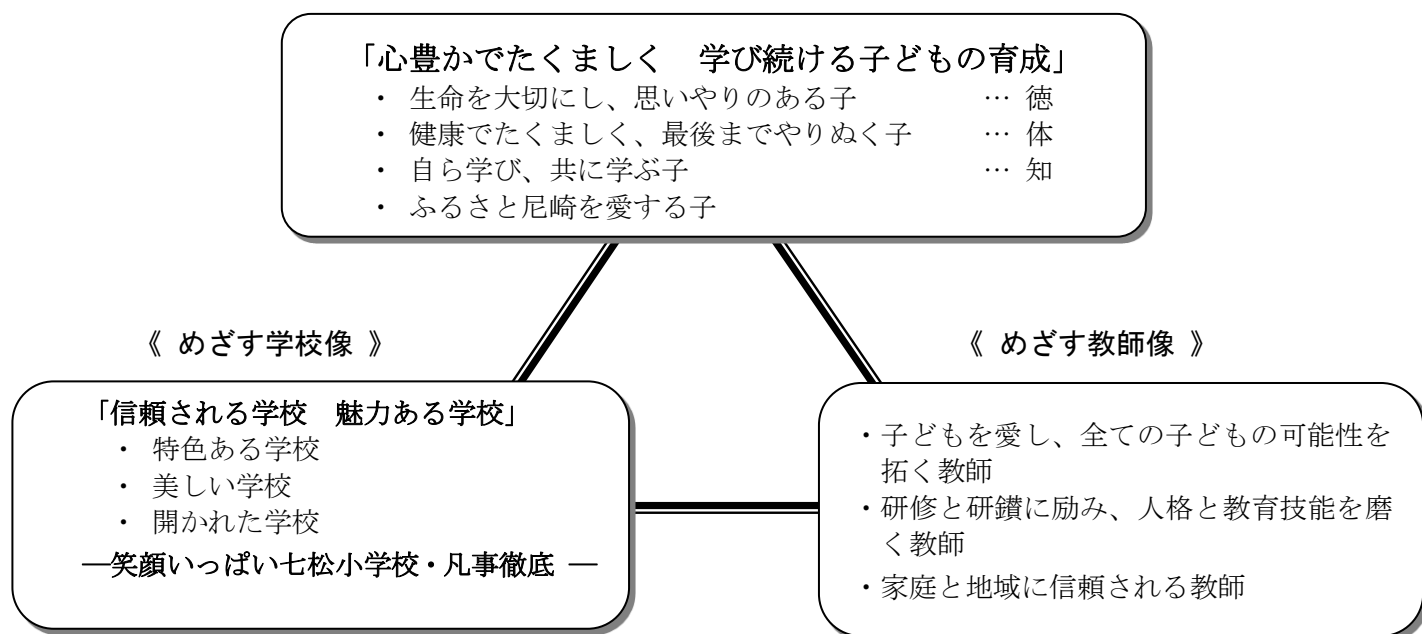


《 学校教育目標・めざす子ども像 》



＜努力事項及びにその設定理由＞

① 教育・学習内容を充実させ、確かな学力を身につけさせる

ア 授業改善の取組を促進するとともに家庭との連携により、学力向上を推進する。
イ 特別支援教育充実の取組を促進し、自立や社会参加に向けた主体性を育成する。

- 学年主任及び各担任が、学年・学級経営案を作成し、指導の重点を明らかにして指導にあたる。
- 確かな学力の定着に向け、学力向上担当を中心とした教職員の協働体制のもと、学力調査等の結果をもとに、学力や生活の現状と課題を明らかにし、対策を検討・実施する。
(国語科を中心とした授業改善、主体的な家庭学習の習慣化、朝読書と昼のチャレンジタイムの計算、放課後学習で基礎基本の育成)
- 校内研究のテーマのもと全員が授業公開を行い、指導力向上に努め、主体的・対話的で深い学びを目指す授業を創る。
- 特別な教育的支援を必要とする児童の教育的ニーズを把握し、個別の指導計画等を作成するとともに、全校体制による特別支援教育インクルーシブ教育を実践する。
- 「兵庫型教科担任制」(5・6年生)を活用し、中学校への円滑な接続、及び個に応じた多様な教育を推進するとともに、小・中学校においては義務教育9年間で子どもの成長を育むという視点に立ち、系統的・連続的な指導や支援をするための連携を強化する。

② 心の教育を充実させ、自己実現の意識の高揚を図る

ア 道徳性育成の取組を促進し、思いやりで満たした人間関係及び社会とのかかわりづくりに努める。
イ 基本的な生活習慣確立の取組を促進し、心身共に健全な育成を図る。

ウ キャリア教育の取組を促進し、社会的自立に必要な能力を育成する。

- 特別の教科道徳と特別活動を充実し、自尊感情の高揚を図り自己有用感や所属感を味わうことができる機会を積極的に設け、身近な課題を主体的に解決しようとする実践的態度を育成する。
- 日常生活の中で互いを尊重し合う人間関係づくりに努め、支持的風土や規範意識を醸成する。
(あいさつ・掃除・学校のきまりや社会的ルールを守ることなどの指導 = 凡事徹底)
- 児童の内面理解に努め、家庭や地域と連携しながら自己指導能力を育成し、規則正しい生活習慣を確立させるとともに、自律性の育成及び問題行動の抑止を図る。
- 早期発見・早期対応を基本に、保護者やスクールカウンセラー、専門機関等との連携を強化し、児童や保護者の相談しやすい体制づくりに努める。
- 夢や希望、目標をもって自己実現を図るため、将来の進路を主体的に選択・設計できる能力・態度を育成する。(キャリアノートの活用)

③ 食育や体育を充実させ、健康な体づくりに取り組む

ア 食育の推進、アレルギー対応、保健指導の充実を図り、望ましい生活習慣を育成する。
イ 体育・スポーツ活動の取組を促進し、体力・運動能力の向上を図る。

- 食育の推進体制の整備、及び家庭と連携して食育の充実を図るとともに、保健指導の充実を通して、望ましい生活習慣の育成に努める。「早寝・早起き・朝ごはん」の推奨、啓発。
- 継続的・計画的な体育・スポーツ活動に取り組ませ、運動する楽しさや喜びを味わわせ、体力・運動能力の向上を図る。

④ 安全な教育環境を確保し、防災意識の高揚を図る

ア 安全教育の取組を促進し、登下校及び校内の安全確保を図る。
イ 防災教育充実の取組を促進し、危機管理能力の向上を図る。

- 危険予測・危機回避能力の育成に努め、保護者や地域、関係機関と連携して、登下校の安全確保及び学校内での事故防止に取り組む。
- 防災・減災を学ぶ機会を充実するとともに、危機管理マニュアル等の改良・改善を図り、危機管理能力の向上を図る。

⑤ 家庭・地域・学校の連携を深め、信頼され、活力に満ちた学校づくりに取り組む

ア 教職員の資質向上の取組を促進し、学校の組織力及び教育水準の向上を図る。
イ 地域資源活用の取組を促進し、開かれた学校づくりを図る。

- 教育公務員として法令等を遵守し、教職に関する専門性を高め、実践的な指導力を身につけるため、絶えず自己研鑽に努める。
- 教職員が地域行事等に積極的に参加するとともに、地域学校協働本部と連携し地域人材の積極的な活用を図る。(クリーン作戦、図書・クラブ活動・花ボランティア、登下校時の見守り隊など)
- オープンスクールの実施や学校ホームページの充実により、学校の教育活動を公開する。
- PDCAサイクルにより、保護者による学校評価アンケート及び学校関係者評価の実施と公表を行い、それらを活用して教育活動等の成果を検証し改善を図る。

《 職場スローガン 》 強みを活かす チーム七松 ー子どもたちの幸福のためにー